

下田市 新庁舎建設に ついて考える

問合せ先
統合政策課庁舎建設係
☎ 22212 FAX 23910

これまでの経過

市では、平成21年から現庁舎の老朽化に伴い、新庁舎の建て替えを検討してきました。当初、現在地における建て替えを検討していましたが、平成23年3月11日の東日本大震災の発生を受け、防災力の強化が急務となりました。また、南海トラフ巨大地震による津波浸水想定公表など、各方面において防災体制が見直されています。市庁舎の建設位置につきましては、適地の選定が難しく、市民の皆さまには、大変ご迷惑をお掛けいたしました。

候補地選定

昨年度より、財政力、安全性・強靱性、アクセス性、まちづくりの方針等を評価軸とし、津波浸水区域や、津波により道路が寸断され孤立する可能性が高い国道135号・136号沿線 avoidance、災害時にも外部とのアクセスが確保できる国道414号沿い、かつ、中心市街地に努めて近い場所で、選定作業を進めてきました。

2月に候補地を公表し、その後パブリック・コメント、市民説明会等を経て、9月定例市議会において下田市役所の位置に関する条例の一部改正を提案しましたが、「市民への説明が不十分」、「まちづくりの全体像が見えない」などの理由により否決となりました。しかし、下田市の地形や交通インフラ、被害想定などの条件と評価軸を照らし合わせた中では、この場所が移転先として望ましい場所と考えています。市長と語る会などで説明を重ね、再提案を目指してまいります。



基本計画策定

基本計画は、新庁舎建設予定地において市民の皆さまが使いやすい、快適な新庁舎を建設するための基本となる計画です。

4月から市民の代表者による審議会を組織し、7回の審議を経て、10月10日に答申書が提出され、新庁舎整備に関する建設方針、理念、導入機能、施設計画等を定めました。安全性は高く、全ての方にとって使いやすい機能でコンパクトな庁舎にすることで、建設費や維持管理費の低減を図るとともに、下田らしさを生かす庁舎の建設を目指します。

下田市新庁舎等建設基本構想・基本計画審議会の開催経過

- H29.4 第1回審議会 (視察(候補地、南伊豆町役場庁舎))
- H29.5 第2回審議会 (視察(熱海市役所、伊東市役所、河津町役場))
- H29.6 第3回審議会 (視察結果を踏まえ、候補地の現状分析、動線計画、要件の整理)
- H29.7 第4回審議会 (新庁舎の機能、規模、フロア構成等の検討)
- H29.8 第5回審議会 (検討内容を整理し、審議会としての方針、要件等のまとめ)
- H29.9 第6回審議会 (基本計画(案)の基本的考え方、施設計画、事業計画の審議)
- H29.10 第7回審議会 (総合的な審議、答申書のまとめ)

基本計画の概要

新庁舎の整備に関し、4つの建設方針を定め、「機能的」「安全性」「経済的・持続性」「地域性・下田らしさ」を兼ね備えた新庁舎整備を目指します。

荷の低減と周辺環境との調和を目指すとともに、維持管理や設備更新などがしやすい施設とする。

働きやすく、柔軟で効率的な施設

職員にとっても働きやすく、効率的に業務が行える環境をつくることに、将来のニーズの変化に対応しやすい、柔軟性と持続可能性を併せ持つ施設とする。

※新庁舎建設基本計画の詳細は、市ホームページ又は市役所本館1階、情報公開コーナーで閲覧することができます。

今後のスケジュール

今後のスケジュールとしては、平成29〜30年度中に設計作業、平成31〜32年度中に建設工事を行い、平成32年度末までの完成を目指していきます。

今後の方針

市民の皆さまが使いやすい、将来に大きな財政負担を残すことが無いように、かつ、新庁舎はまちづくりを推進するための重要な施設と位置づけ、新庁舎整備事業を推進していきます。

また、新庁舎だけではなく、その整備と並行して、「現庁舎跡地」、「再編整備後の中学校跡地」についても、有効的な利活用の方法を検討していきます。

どちらの土地も、今後のまちづくり、地域づくりにおける拠点として重要な場所であることから、庁内・庁外様々な面から活用についての内容を検討し、まちの活性化を図ることができるよう目指していきます。

全ての市民にとって 使いやすく、快適な施設

高齢者・障がいのある方、小さな子どもがいる方など、全ての人々が使いやすいユニバーサルデザインを目指し、また、市民サービスの向上やアクセスなどに配慮した、便利で快適な施設とする。

持続的で経済的な施設

建設費を抑え、省エネ・創エネを積極的にを行い、環境負

基本計画の理念

機能的

- ・市民にとって使いやすい快適な空間
- ・職員が働きやすい効率的なオフィス
- ・将来の社会情勢に柔軟に対応できる汎用性の高い空間構成
- ・敷地条件を生かした効率的な動線計画と配置計画による敷地の有効活用

安全性

- ・防災拠点施設として、大規模災害にも耐え得る構造・機能を有し、業務の継続性を考慮した庁舎
- ・液状化対策等、地盤条件を踏まえた合理的で安全性の高い庁舎

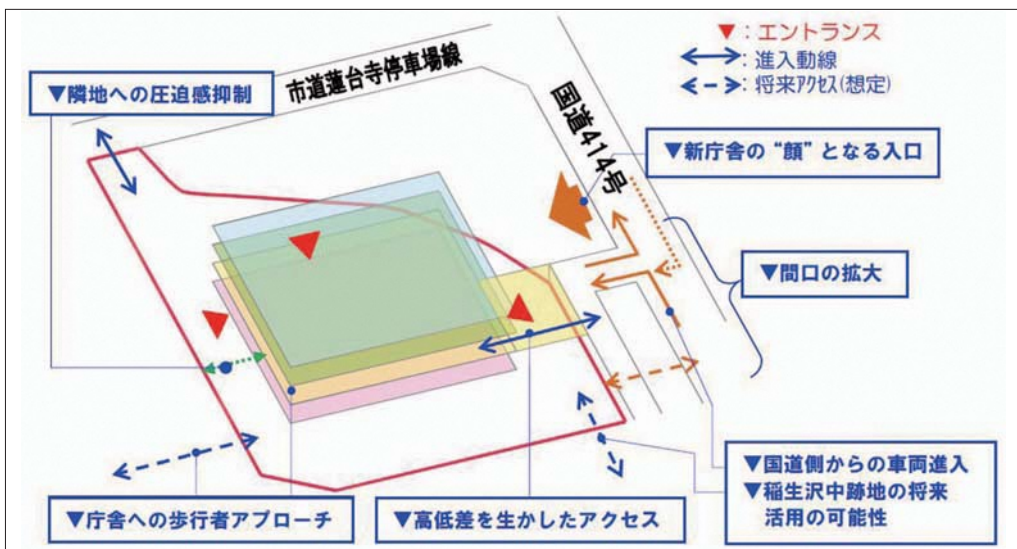
経済的・持続性

- ・機能的でコンパクトな庁舎とすることで、建設コストと維持管理コストの低減を図る(ライフサイクルコストの縮減)
- ・環境に配慮し、維持管理コストを抑えた持続性の高い建築設備

地域性・下田らしさ

- ・開国のまちとしての歴史・文化を伝えられる、市民が誇りと愛着を持てる庁舎
- ・市民や地域の“交流”により下田らしさを表現
- ・豊かな自然など地域資源を生かす

市庁舎整備の理念



基本計画の理念と配置計画のイメージ